

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・最近ではホームページを見て、連絡をくれる客が増えている。今月も1人暮らしの高齢者宅の遺品整理が入り、トラック8台分の量であった。周辺でもこうした依頼が増えてきており、墓じまいや仏壇の処分依頼もかなり入っている。
	○	コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・競合店のリニューアル工事に伴い、来客数が増加している。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の販売台数が増加傾向にある。モデルチェンジ等のイベントはないものの、安定供給を背景に急な代替需要も目立つようになっている。
	○	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・物価高の影響もあり、客単価は前年割れであるものの、来客数は前年よりも増えてきている。
	○	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・露天風呂の改装後のため、例年よりも客が多い。風呂の改装という話題があると、料金がやや高くても来訪客は多いため、以前よりも景気は良いといえる。料金改定でやや高めの料金でも利用するのは首都圏、中京圏、関西圏といった大都市圏の客が多い。県内でも県庁所在地等、都市部の客が増えているが、地元の老人会等のいまだ安い料金の感覚が抜けない層の利用は減っている。格差が広がっているのかもしれない。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・今月は前月に続き、市内では毎週イベントの開催があり、高値でも客が入る状況にあり、宿泊客がかなり伸びている。3か月前の6月と比べて宿泊は115%、一般宴会も110%ほどで、ある程度の単価でも販売できている。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・涼を求めて来訪したという客のコメントをよく目にする。今夏は特に暑かったため、避暑に訪れる観光客が多かったのではないかと。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・学校の新学期が始まると、当店はそれに準じて動くので、9月は忙しかった。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・今月2回の連休に期待をしていたが、後半の連休は、想定より盛り上がりなかった。
	□	一般小売店[家電]（経営者）	お客様の様子	・値上げムードに慣れてきたのか、消費者の駆け込み需要や買いだめもみられない。何ともいえないどんよりした状況が続いている。売る側もこれといった商材も施策もなく、冬物商戦に向かって明るい兆しがみえてこない。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数、買上点数共に安定している。米の先食いがあって、数量は減少するも単価上昇で影響は軽微である。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・販売量には変化がないものの、米等の値上げで客単価が上がっている分、家庭の負担は増えている。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年とは違い、今年は夕方に雨が降ることが多く、それも結構な集中豪雨だったため、来客数が減り売上が伸びず、厳しい。
	□	コンビニ（店長）	単価の動き	・今月も気温がかなり高温で推移したので、日中は来客数が大分減っている。客はまとめて買う場合もあったが、比較的安価な物に移っているようで、その点が少し厳しい。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は多少改善しているものの、販売数量や単価が改善していない。
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は目標をクリアしているものの、リサイクル部品を持ち込む客が若干増えている。車両販売については、依然として新車注文受付ができない人気車種もあり、契約に結び付かない。	

□	その他専門店 〔酒〕(店長)	お客様の様子	・本来、9月は当店の主力である日本酒が上り調子だが、お盆休みや3連休等でお金を使った疲れからか、非常に波がある。いろいろな物価が上がり、当店でも扱っている米の在庫が不安定で、なくなりそうになったりした9月である。単価が高くなった上に、一般の客が一升瓶から720ミリリットルに変わったり、飲食店も価格の下がった物を扱ったりと、ふだんの月とは少し違った動きをしている。	
□	一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・景気動向が鈍化している。	
□	旅行代理店(副 支店長)	お客様の様子	・旅行需要は堅調のまま推移している。個人、団体旅行共に、需要の高い状態は維持している。	
□	通信会社(社 員)	販売量の動き	・新規加入数は横ばいである。現状、強調すべき材料は見当たらない。	
□	通信会社(社 員)	来客数の動き	・新規はともかく買換え需要が伸びているようにはみえない。	
□	ゴルフ場(副支 配人)	単価の動き	・客の動きから、平日来場分の値上げが難しい状況は変わらない。土日に関しては値上げが可能になっている。	
□	その他レジャー 施設〔ボウリン グ場〕(経営 者)	来客数の動き	・夏休みが終わり、一旦落ち着いているものの、3連休が2回続き、週末はにぎわっている。	
▲	商店街(代表 者)	来客数の動き	・暑いからといって夏物一掃セールの効果があるわけではなく、秋物に手が出るわけでもない。通りのがらんとした状態は相変わらずで、店は開店休業状態が続く。	
▲	百貨店(経理担 当)	お客様の様子	・残暑が長く続き、気温が下がらず秋物衣料の動きが鈍く、衣料品を中心に苦戦している。期待していた食品催事も芳しくない。	
▲	スーパー(経営 者)	お客様の様子	・前年比では売上は17%減少、来客数は10%減少となっている。前年9月は1週間で売上180万円というイベントがあった。今年は大きなイベントが11月予定のため、9月は忙しい日々だったが前年割れの結果となっている。弁当製造販売についても原材料価格が上がっており、10月からは米も26%単価が上がるということである。弁当のご飯の量を減らして対応したい。	
▲	コンビニ(経営 者)	お客様の様子	・夏休みムードも終わり、落ち着いてきている。	
▲	コンビニ(経営 者)	販売量の動き	・繁忙期より客足がやや少ないことに比例し、客単価が下がっている。買上点数が少なくなっている。	
▲	コンビニ(エリ ア担当)	来客数の動き	・来客数は僅かだが減少傾向にある。主にデザートだが、嗜好品の販売が落ちている。	
▲	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・6月から8月までかなり良い景気が続いていたが、9月に入り予約状況も来客数も減速している。	
▲	スナック(経営 者)	来客数の動き	・全体的にフリーの客の動きが低調で、宴会の予約も余り入らない。新型コロナウイルス感染症は落ち着いていて、余り影響がみられないため、暑すぎること等、何かが影響していると考えがよく分からない。	
▲	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・明らかに個人の利用者数が減少傾向にある。週末は今までとそれほど変わらず、ある程度活況ではあるものの、平日利用の減少と全体的に夜の利用が大きく減少傾向にある。また、利用金額や商品価格に関しても今までよりもシビアにみられている。	
▲	タクシー運転手	販売量の動き	・前月までは前年比105%くらいで推移してきていたが、今月は前年比100%も難しい状況になっている。昼間は乗務員の数と乗車する客の数がまずまずだが、夜間は利用客がおらず、特に24時以降はほとんどいない。夜間勤務の乗務員もいない。	
×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・商店街の客の動きが全くみられない。物価高のせいなのか、暑さのせいなのか、人通りがない。	
×	遊園地(職員)	来客数の動き	・ゲリラ豪雨などの悪天候が影響したほか、大型イベントが少なかったため、悪くなっている。	
企業	◎	*	*	*

動向 関連 (甲信越)	○	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	取引先の様子	・店頭向け商材の受注がやや増加している。
	○	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・比較的コンスタントに受注がある。ふだん、余り連絡のない取引先からも急な問合せが来て、受注につながっている。
	○	電気機械器具製 造業（従業員）	受注量や販売量 の動き	・受注量が若干増えてきている。
	□	食料品製造業 （営業統括）	受注量や販売量 の動き	・酒販店や業務店からの引き合いは、依然として弱い状態にある。
	□	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・受注状況は順調だが、人手不足が続いている。
	□	金融業（調査担 当）	取引先の様子	・在庫調整の遅れが継続していた一部製造業では、持ち直しの動きが見え始めているが、企業間で改善の差が大きくなっている。非製造業は、観光関連で改善の動きが続いているものの、人手不足や原材料価格上昇が業績面に影響している。
	□	金融業（経営企 画担当）	取引先の様子	・原材料等の価格高騰により、賃金や受注価格上昇の実感は薄く、生活感や資金繰りの改善を実感できない。
	□	新聞販売店〔広 告〕（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・物価高による家計の節約のため、新聞販売も購読停止が高止まりしている。折込出稿についても前年比微減で推移している。
	▲	その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・8月末に行われた全国規模の展示会は、台風の影響で交通網が乱れ、来場客が大幅に減少したことから売上は大きくダウンした。最近の間屋企画の催事では高額品が売れず、売上単価の低迷が続いている。ここ数か月の暑さで服装もカジュアル化しており、装飾品もライト感覚な物が主流になっており、ジュエリーは売れない。
	×	食料品製造業 （製造担当）	それ以外	・仕入資材の値上げが止まらないため、現在の売価ではとても吸収できない。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	職業安定所（職 員）	求職者数の動き	・当所管内の有効求人倍率は、前年同月比で上昇傾向がみられる。
	□	人材派遣会社 （営業担当）	採用者数の動き	・前月同様、採用状況は変わらずに足踏み状態である。
	▲	*	*	*
	×	—	—	—